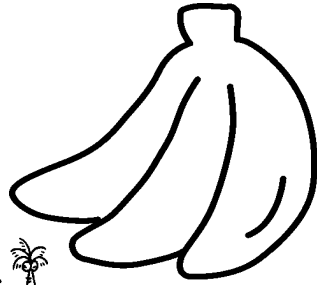


ばななだより

草笛学園 2024年 6月



雨降りの日が多くなり、梅雨らしくなってきました。雨の日は、保育所や幼稚園への道のりも、大人にとってはいつもより“大変なこと”になってきますよね。荷物に加えて、子どもたちの興味があちこちにあり、園までが遠く感じ、やっと着いたらびしょぬれ！なんてこともあるのではないのでしょうか。時間のある時には、水たまりやかたつむりなど、雨の日ならではの楽しさを一緒に感じることも、子どもの感じる“おもしろさ”に気づくきっかけになるかもしれませんね。



子どもは自然の中で育つ

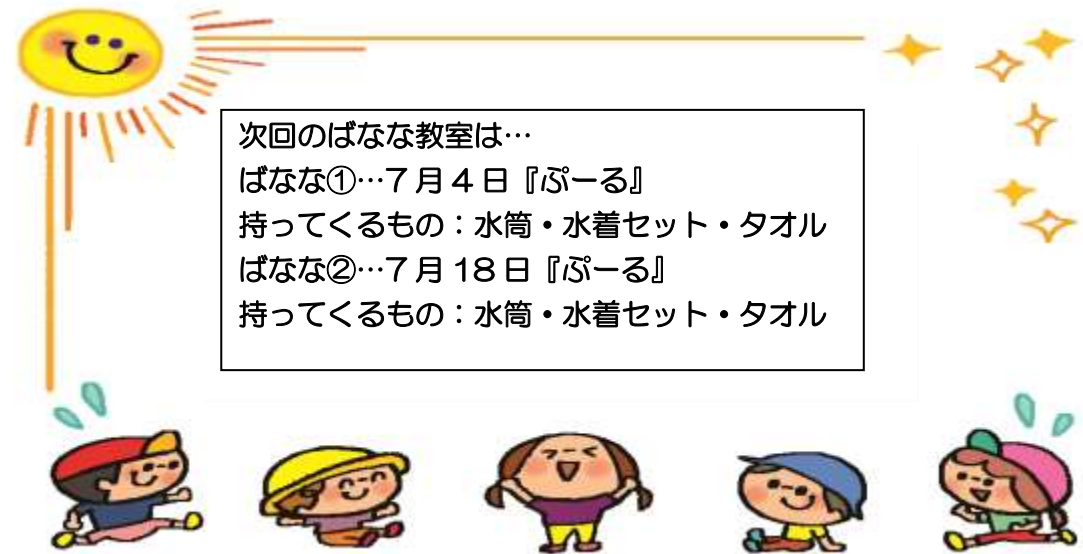
テレビ、ゲーム、スマホ、パソコンなどに代表されるバーチャルな世界が子どもをとりまくようになって、そのことのもたらす弊害がさまざまに語られています。乳幼児期の子どもたちは、五感全体を働かせて、周囲の世界を豊かに具体的に、そしてまるごととらえていきます。実際に、自分の力で外の自然や周囲の人に働きかけ、自分のからだや手先や感覚や心でぶつかっていくことで、自分を育て、外の世界を豊かに深く認識していくための土台を育てていきます。

しかし、五感全体だけではなく、ある個別の感覚だけを働かせてとらえられた世界は、きわめて不安感であり、それはときとして、子どもの心に不安感を呼び起こします。安心して新しい世界に挑戦していくことを難しくすることがあります。自然が子どもをたくましくすると言われてきたのは、狭い意味で身体を鍛えるからだけではないのでしょうか。自然は、五感全体を働かせることを求めます。五感全体を働かせて、外の世界と交渉していくことによって、自分の存在感を確かなものにし、安心して外の世界に立ち向かえる土台を築いていくように思います。

自然には変化がいっぱいです。固定遊具で身体の使い方を育てることもできます

が、変化が多く、デコボコした自然の方が、しなやかさやたくましさを育てます。大きな木が1本あるだけで、子どもたちは絵本の世界と結びつけた想像力の世界を広げます。そして、ときとして、1人の力だけではどうすることもできない自然の威力を知ったときに、真に人が手をつなぎあっていくことの意味を学んでいくのではないのでしょうか。

『シリーズ◎子どもと保育 4歳児』 秋葉英則／白石恵理子著



次回のばなな教室は…
ばなな①…7月4日『ぶーる』
持ってくるもの：水筒・水着セット・タオル
ばなな②…7月18日『ぶーる』
持ってくるもの：水筒・水着セット・タオル

『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- **参加費は無料です。**(次回からおたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため)制作や、クッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡いたします
- 活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- 水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えてください)
- きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください
ていただくとともに、学園への連絡をお願いします

